

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和7年度 西春別中学校 第2号

こととい

令和7年4月30日 発行



< 校 訓 >

自 主 友 愛 有 能

< めざす生徒像 >

- ・自ら学び考える生徒
- ・心と体を鍛える生徒
- ・協働する生徒
- ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

あんぱん と 牛乳



西春別中学校長 綾野 正巳

「西春別中学校最後の1年を楽しもう！みんなで最高の思い出を作ろう！その中心となるのが、今ここにいる皆さんです。今年1年の活躍に期待しています！」4月7日の始業式で生徒達に伝えました。背筋を伸ばし、立派な姿勢と真剣な目差しを向けている姿に頼もしさと大きな成長を感じました。

「入学式では、2・3年生にも伝えたいこととお話しします。キーワードは**あんぱん**と**牛乳**です。どんな話をするのか？ちょっと創造力を働かせておいてください。」と前振りをし、以下のようなお話をしました。

(入学式 式辞より抜粋)

1年生のみなさんへ励ましの気持ちを込めて、今日は2つのこととお話しします。

1つ目は、**「成功は、諦めない心の先にある」**ということです。

この4月から始まったNHK朝の連続テレビ小説を知っていますか。題名は「**あんぱん**」です。皆さんも幼い頃に見た「アンパンマン」の作者である「やなせたかし」さんご夫妻を題材にしたドラマです。やなせたかしさんは「アンパンマン」が人気となり、脚光を浴びるまで、大変苦労された方です。彼は22歳で戦争へ行き、27歳の時に何とか日本へ戻ってくることができました。戻って来た後は、新聞社やデパートに勤めながらマンガを書き続け、34歳の時、漫画家として独立しました。42歳の時に作詞した「手のひらを太陽に」はヒットしましたが、漫画家として自分の作品はヒットせず、裏方の仕事をしていました。そして、54歳の時「アンパンマン」の絵本を書き、少しずつ人気が出て、テレビでアンパンマンが放送されたのは、彼が69歳の時でした。まさに諦めない心の先に成功があったのです。幼い頃に漫画家になりたいという夢を諦めず、一步一步できることをコツコツ取り組んできたことが大きな成功へつながったのです。皆さんも自分の夢ややりたいことを見つけて、小さな一歩を歩み出して下さい。

2つ目は、**「自分も周りの人も大切にできる人間」**になって下さい。

私たちの周りにはいろいろな人たちがいます。一人ひとり、みな違う顔で、声も違う、体格も違うし性格もちがう、物の見方や考え方も、それぞれ違うことも普通にあります。しかし、これらの違いは、「どちらが上で、どちらが良い」というものではありません。そうした違いを理由に人を排除したり、差別、攻撃したりする行為は絶対に許されることではありません。「お互いの違いや個性を認め、自分も周りの人も大切にできる」人間になって下さい。そのために、常に、何が正しいのか、自分で考え、判断できる力を身に付けていきましょう。

ちなみにですが、本校の3年生の今年の学級通信のタイトルは「**フルーツ牛乳**」です。これには、3年生が話し合って考えた大切な思いが込められているそうです。フルーツ牛乳のように、様々な個性を持つ果物が調和し、1つの美味しい飲み物になるように、自分たちも異なる個性を尊重し、素晴らしい学級を作り上げていきたいという思いが込められているそうです。私はとても感動しました。そんな素敵なタイトルを考えた3年生は西春別中学校の誇りです。そんな3年生がリーダーとなる西春別中学校最後の1年は、きっと素敵な1年になると確信しています。1年生の皆さんも楽しみにしてして下さい。

美味しい美味しい「西春別中フルーツ牛乳」が完成するよう、日々の教育活動に邁進してまいります。

